

# くらしの危険 ～お菓子や飲みものに似た商品の誤食～



クッキーやチョコレート、ワイン、ジュースなどにそっくりの形やパッケージの、食品ではない商品がたくさん出回っています。特に石けんや入浴剤などは、楽しい上に実用的なこともあり、プチプレゼントとしても人気です。これらを食品と間違えて食べてしまったり飲んでしまうという事故が起きています。

**事例 1** お祝い返しとしてもらった石けんの容器や形が和菓子そっくりで、高齢の父が口に入れてしまった。



**事例 2** 結婚式に出席した際にもらった入浴剤を飲み物と間違えて飲んでしまった。袋にはホットミルクの湯とあり、いかにも飲み物のようだった。



**事例 3** 寝たきりで認知症気味の母が、アンパンそっくりのストラップを少し食べてしまった。素材もふかふかしており甘い香りがするので本物のようだ。



**事例 4** コンビニで3歳の息子がいちごミルク味の飴がほしいというので買って帰宅。子どもが食べたところ「酸っぱくて変な味がする」というのでよく見ると飴を模した入浴剤だった。

## ◆事故を防ぐために

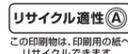
- ① 寄せられている事例のほとんどは、もらい物あるいは購入した本人以外が食品と勘違いしたことによる事故でした。購入した人はせっけんや入浴剤だとわかっていてもそれを知らない人は間違える可能性があります。食品とは別にしておき、はっきりとわかるようにしておきましょう。
- ② 人にあげる際は、せっけんや入浴剤であり食品ではないということをはっきり告げましょう。特に高齢者のいる世帯や一人暮らしの高齢者にこのような商品を贈る場合はより一層の配慮が必要です。

出典：国民生活センター発行「くらしの危険」No. 300

消費生活に関するトラブルでお悩みの方、お気軽にご相談ください。

相談日時／月曜日～金曜日（土・日、祝日、年末年始を除く）午前9時30分～午後4時30分

● 成田市消費生活センター（市役所2階） ☎23-1161 ●



グリーン購入法に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

# 消費生活

No. 98  
平成23年9月30日

編集発行 成田市消費生活センター ☎23-1161 成田市花崎町760 市役所2階

## 特集 ●「スマートフォン」購入の際の注意点 ●「くらしの危険」～お菓子や飲みものに似た商品の誤食～



電気製品の消費電力を測定中!



市の防災対策などを学習



山口配水場を見学

## 消費生活モニター会議で防災について学びました

3月11日の東日本大震災直後、消費者は食料や乾電池などの買いだめをしたり、ガソリンの給油に大行列をなしたりと、私たちの消費生活は大変混乱しました。

このことから消費生活モニター会議では、防災をテーマに震災に対する備えやライフラインの現状、また、電力不足対策として家庭で行える節電などについて学習しました。

# スマートフォンはその機能や特徴をよく理解したうえで購入しましょう!

近年、スマートフォンが注目を集め、利用者数が急増しています。これとともに、料金体系やウイルスについての相談も増えています。

自分に必要な機能は何か、料金体系はどうか、ウイルス対策はどうすればよいかなど、購入の際にはこれらについて自ら店頭などで尋ねることが大切です。

今回は、スマートフォンについて簡単に説明すると共に、寄せられた相談を紹介します。

## スマートフォンとは

汎用的(広くいろいろな使い方ができる)なOS(基本ソフト)を使い、パソコン並みの検索機能やアプリ(アプリケーションソフト)の略。ゲームや乗り換え案内など実行したい作業を実施する機能を直接的に有するソフトウェアの実行機能がついた多機能携帯電話。簡単に言うと「小さな持ち運べるパソコン」と考えてもよいのかもしれませんが。

## スマートフォンの機能

スマートフォンは通常の携帯電話と同じように通話や、メール、インターネットが利用でき、機種によってはテレビが視聴できる「ワンセグ」や、電子マネーなどが利用できる「おサイフケータイ」、位置情報を測定してくれる「GPS」機能などが搭載されています。

また、スマートフォンの特徴として、アプリをインストールすることで、パソコンのように様々なソフトを使うことができるようになります。

## スマートフォンでの主な注意点

最近では携帯電話に搭載されていた機能のほとんどがスマートフォンでも利用できるようになりましたが、携帯電話同様、機種によって搭載されている機能が異なりますので自分に必要な機能が搭載されているか、購入の際は確認しましょう。

また、携帯電話ではほとんどなかったウイルス感染も報告されています。スマートフォンは小さなパソコンと考え、パソコンと同様な管理が必要です。

スマートフォンは今後更なる発展と需要が見込まれます。価格も購入しやすい価格になってきていますが、自分が必要とする機能は何かを考えると共に、デメリットについてもよく理解して購入するようにしましょう。

## 消費生活センターによせられた相談

**事例 1** アプリを利用していないにもかかわらず、高額なパケット通信料が発生した。



スマートフォンでは、パソコンサイトへのアクセスや、GPSを利用した地図表示などによりデータ通信量は予想以上に多くなり、思いもよらない高額なパケット通信料を請求されることもあります。こうしたことが起こらないために、パケット定額サービスへ加入することもひとつの方法です。



**事例 2** スマートフォンはいろいろなアプリが利用できて便利だが電池の持ちが悪い。



スマートフォンは、動画の再生や録画、ネット接続、GPSの使用、アプリの更新などで電池を消耗します。いざ使おうと思った時に、電池が切れていたということのないよう、GPSのオフ設定や利用しなくなったアプリを削除するなどして電池の消耗を抑えましょう。



## ウイルス感染の脅威

現在、スマートフォンを標的としたウイルスが相次いで発見されています。ゲームのアプリや動画再生のアプリになりすまし、ボタンを押してアプリのインストールを開始すると、位置情報や有料SMS(ショートメッセージサービス)を勝手に送信するなどのウイルスに感染してしまう、といった被害が報告されています。

### 被害を未然に防止する対策として

- ・セキュリティソフトやウイルス対策ソフトを導入する
- ・アプリをインストールする前に、アクセス許可を確認する
- ・アプリは信頼できる場所からインストールする

などが考えられますので、被害にあわないよう十分注意しましょう。また、携帯電話事業者によっては、ウイルス対策ソフトを月額制または無償で提供していますので、契約時に確認してみてください。

